

宝達志水町ケーブルテレビ放送番組審議会 会議録

開催日時 令和3年12月23日(木)
10:00～11:00
場 所 さくらドーム21 視聴覚室

出席者

委 員 中西 輝一郎、藤本 礼子、深井 典栄、寺崎 敏治、廣正 清明、金谷 外志弘
事務局 大下課長、中橋課長補佐、川端主事

欠席者

委 員 北村 真由美

(事務局)

ただ今から、宝達志水町ケーブルテレビ放送番組審議会を開催いたします。この審議会は放送法第6条において、「放送事業者は、放送番組の適正を図るため、放送番組審議会を置くものとする」とされており、それに基づき開催するものです。

はじめに、委員の皆様には、今回新たに委員を委嘱させていただきました。委嘱状の交付については、大変恐縮でございますが、お手元に配布してあります委嘱状により代えさせていただきたいと思っておりますので、ご了承のほど、よろしくお願いいたします。

また、委嘱状のお名前など、ご確認をよろしくお願いいたします。

それでは、まず始めに寶達町長よりあいさつをよろしくお願いいたします。

(寶達町長挨拶)【要旨】

委員の皆様におかれましては、お忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。

本町のケーブルテレビ事業は16年目を迎えます。これまでに、多くの皆様方のご協力をいただき、当審議会のご意見も踏まえて、よりよい番組づくりに取り組んできました。今年はコロナ禍の中ということで、行事の中止等、取材をしにくい状況もありましたが、そういった中でも多くの方にご協力いただき、取材や番組制作に取り組んできました。大変厳しい状況が続く社会ですが、「子どもたちから大人に至るまで、多くの方がこの町で元気に頑張っておいでる姿を多くの人にお届けしたい。」そのような考えで番組制作を行ってきました。

本日の会議におきましては貴重な会議でありますので、皆様方から忌憚のないご意見を頂戴し、今後よりよい番組、そして町のケーブルテレビ事業として意義深く、価値ある番組づくりに取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございます。寶達町長は他の公務もあるのでここで退席となります。

【町長退席】

それでは、ここで委員の皆様の紹介をしたいと思います。

【委員紹介】

次に事務局になります。

【事務局紹介】

(事務局)

次にこの会の会長、副会長の選出についてです。

(資料1)宝達志水町ケーブルテレビ放送番組審議会条例 第5条「審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により選任する」とありますが、どなたかおいでますか。

(委員)

事務局に一任。

(事務局)

それでは、事務局の方で指名させていただいてよろしいでしょうか。

【委員 了承】

ありがとうございます。

それでは会長を中西委員、副会長を深井委員にお願いしたいと思います。みなさんよろしいでしょうか。

【委員 了承】

(事務局)

ありがとうございます。会長となられる中西委員は会長席の方に移動いただいてよろしいでしょうか。

【中西会長、会長席に】

(事務局)

早速ですが、中西会長から一言挨拶を頂きまして、会長が議長になって議事を進行することになっていきますので、議事の進行もよろしくお願いいたします。

(会長)

会長を任せられました中西です。審議会の内容も熟知していませんが、皆さん方の協力を得ながら進めていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

それでは、レジュメに従って進めていきます。議件(1)から議件(3)について、事務局の方から説明をお願いします。

(事務局)

議件(1)及び議件(2)について説明させていただきます。

【議件(1)宝達志水町ケーブルテレビ放送番組審議会条例について】(資料1)

この条例につきましては第1条から第8条までで構成されておりまして、本審議会の主な事務・組織等を定めております。

(資料1に基づき審議会条例を説明)

【議件（２）町ケーブルテレビ放送番組基準および宝達志水町ケーブルテレビ放送番組の編成に関する基本計画について】（資料２）

（資料２に基づき放送番組基準および編成に関する基本計画を説明）

（事務局）

引き続き、議件（３）の自主放送番組さくらチャンネルについて説明します。

【議件（３）自主放送番組（さくらチャンネル）について】（資料３）

さくらチャンネル番組枠について、ご説明させていただきます。現在、さくらチャンネルでは５つの番組枠を設けています。

（１）ぐるり宝達志水 ３０分枠

・地域のニュース

学校や保育所の行事、地域や町の行事を放送（１週間更新、２本ずつ）

・コーナー番組

ワンダフルグループ、この本読んでみんち、クローズアップ（２週間更新）

（２）くらしの情報便 ３０分枠

・行政情報番組（随時制作）

・町の行事案内（１週間更新）

（３）ほっと劇場 ６０分枠

各種機関が制作した番組を放送

宝たちの夢、日本ケーブルテレビ連盟が無料で公開している映像、町が所有している映像やNHKの過去映像（２週間更新）

（４）さくらチャンネルアーカイブ ６０分枠

以前に放送した番組の再放送（２週間更新）

例年３ヶ月前のニュースを放送していましたが、季節感にズレを感じる事が問題点として考えられたため、放送内容を見直しし、今年度の途中から、過去数年間に放送された同じ月のニュースをピックアップし放送することに変更しました。

（５）議会放送 ノーカットでの録画放送の為放送時間は未定

町議会定例会の様子を録画で放送

放送スケジュール

１週間のうち、ぐるり宝達志水は平日は１日１回、土日は１日２回、くらしの情報便は平日に１０回、土日は１２回、ほっと劇場は毎日４回、アーカイブは毎日３回放送しています。

各番組が放送時間に満たなかった場合、文字放送を放送しています。また、平日は金沢ケーブルが提供している番組を放送しており、１２時３０分と２０時からは北國新聞ニュース、１５時３０分からはまちスタ３３０を放送しています。

【さくらチャンネル放送スケジュール】（資料4）

今年度の放送実績、及び今後の放送予定は表の通りです。

<新型コロナウイルスに伴う番組制作への影響について>

感染拡大状況や緊急事態宣言に左右されるように、行事の中止や延期、規模の縮小が多くあったため、ニュース番組の制作に大きく影響することもありましたが、コロナの感染状況が穏やかになった10月頃からは開催される行事も増え、現在はほぼ影響なく取材を行えています。

例年放送されている企画番組に関しては、コロナの影響で中止になった蓮華山大相撲以外のYOSAKOIソーラン、宝浪漫マラソンフリーランは通常のニュース枠として取り上げさせていただきました。今後もこのようなイベントは大きく取り上げていきたいと思えます。

また中学校の部活動紹介も例年行っておりましたが、今年度は見合わせる事となりました。来年度はコロナの感染状況を踏まえながら撮影を行っていきたくと思えます。

この本読んでみんちにつきまして、こちらでもコロナの影響で図書館からのお知らせのみを放送することが主となりました。コロナの落ち着いた11月に入り、宝達中学校より実施の要望がありましたので、今年度は宝達中学校のみ放送の予定です。コロナの状況にもよりますが、来年度は各小中学校で撮影を行いたいと考えております。

ニュースが減った時期の代替番組として、料理教室等過去に放送した番組の再放送や、宝スポに協力してもらい、家の中でできる簡単なストレッチを紹介する「みんなのうちトレ」を撮影し、放送しております。

<番組制作について>

ぐるり宝達志水のニュース、企画番組については基本的に全て外部に委託して制作しています。くらしの情報便も新しい番組について、ほんと劇場は宝たちの夢を委託、議会放送はすべて業者に委託して制作しています。

<加入率・加入促進について>

11月末現在、町内のケーブルテレビ加入者数は2,046世帯、全世帯に占める加入率は41.4%となっております。志雄地区の山間部の方では、ほぼ全世帯が加入している状況です。総務省発表の資料によると、石川県全体の加入率が42.9%となっている為、町の加入率は若干下回っていますがそれほど低い数字ではないと考えています。

説明は以上となります。

（会長）

ありがとうございました。今ほど事務局から議件（1）～（3）までを、（資料1）～（資料4）を通して説明して頂きました。何か質問・意見はございますか。

（質問無し）

（会長）

なければ次へいきます。案内文章と一緒に送付したDVDを見た感想などがあれば、発言して下さい。

(委員)

ぐるり宝達志水などニュースの中で、下に出てくるテロップはわざと二重にしてあるのか。デザインでぼかしてあるならば、はっきりとした文字にした方が見やすいと思う。

(事務局)

一度確認させて頂いて、対応出来るものに関しては対処させて頂きます。

(委員)

荻市で主催されたハロウィンイベントの放送を見て、子どもから高齢者まで幅広い世代が集まってこのようなイベントが開催されている様子が見られて良かったな、頑張っているなど感じました。

また、お客さんとして店に来られた50代の女性から、何年か前の過去映像が流れた時に懐かしい顔が見られて良かったという意見があり、過去の映像が流れるのもすごく良いと思いました。

今の話と別件ですが、商工会女性部の活動として、末森城の合戦の紙芝居をしており、2月に押水児童クラブで披露するのですが、さくらチャンネルで取材してもらえるのでしょうか？また、取材の依頼はどちらに相談すればよいのでしょうか。

(事務局)

取材依頼は日程等が決まりましたら企画情報課までご連絡頂ければと思います。

(委員)

例えば、前段階として商工会女性部の活動を取材して、事前の準備段階も合わせて撮影していただくことは可能ですか？

(事務局)

ニュース枠では無く、ワンダフルグループで普段の活動内容や、児童クラブでの紙芝居披露の様子を取材させて頂くという形であれば可能です。

(委員)

ありがとうございます。

(委員)

私はディスカバリーウォークが大好きです。これを見ていると町のことについてすごく勉強になりますし、こういう場所があるのだと魅力を知ることができる。続編などは作らないのですか。

(事務局)

今年度は未定となっておりますが、昨年の放送から引き続き好評を頂いておりますので、今後も随時作成していきたいと考えております。

(委員)

各地区ごとに地区名の由来を掘り下げても面白いなと思います。今浜と宝達を掘り下げたように、他の地区も取り上げてみてはどうでしょうか。

(事務局)

地域に密着した情報を発信したいと思っていますので、そのような意見も考慮して、番組を作成していきたいと思っています。

(委員)

集落にも歴史の本は置いてあるが、映像の方が内容が頭に入りやすいので、地区ごとの特徴を短くまとめて作成するのも面白いですね。

(委員)

先程の深井委員の様に「取材に来てほしい」という情報の提供は町に対して、どんどん行っていくべきだと思います。

(事務局)

出来るだけ町の行事などの情報を把握しようと心がけていますが、限界がありますので、情報を提供していただけることはとてもありがたいことです。

(委員)

町にスポーツ文化コミッションが立ち上がりましたが、そういったことも町民にPRしないと分からないと思います。スポーツや文化の情報を町民の皆様に理解してもらい視聴してもらわなければいけない。一番良いのは家族揃って番組を見てもらうことだと思います。加入率も低いが、視聴率も上げなければいけないのではないのでしょうか。

(委員)

視聴率は町で分かるのでしょうか。

(事務局)

視聴率はこちらでは把握できません。

(委員)

加入率を上回ることはないのでも少なくとも40%以下ですね。個人的な意見ですが、テレビを見るときは全国のニュースの方に興味が湧き、地元のニュースを見るのが疎かになってしまいます。そのため、地元のニュースは時間があれば視聴するという感じです。そこで、全国的なニュースの切り口から、自然に地元のニュースに結びつけられる様に番組構成を工夫して頂けると、地元のニュースに関しても興味を持って見てもらえる様になるとと思います。

(委員)

全国的なニュースの取り扱いに関しては放送権や著作権の問題なども出てきますね。費用なども発生するのではないですか。

小学生の子どもたちが放送で取り上げられると家族みんなが見ると思います。

(委員)

普段はテレビに映る機会がないので、イベントに参加していて自分が映っているのも嬉しいですよ。過去の映像を見る際も参加していたイベントだとなんか見えてしまいますし、小学校や中学校の子どもさんが映ったり、自分の参加していた行事がテレビに映るとなれば、ケーブルテレビに加入するきっかけになると思います。

(委員)

学校の代表として参加させていただいています。保育所から中学校まで満遍なく放送していただいているのですが、特に小学校に関しては数年後には統合してしまうので、各小学校のイベントを放送していただくことによって、統合した時に何が残ってくるのかということが全町民に伝わるのが大事だと思います。また、町として宝達高校を盛り上げていくということであれば、高校生を焦点に当てた番組を増やすことも望ましいと考えます。

ディスカバリーウォークに関して、字幕が出ていることによって耳の不自由な方、子ども達にとっても見やすい番組になっていると思います。

春ばあちゃんの日常（QRコード編）を見て、羽咋市やかほく市など、近隣地域でケーブルテレビの放送を共有できればQRコード編で放送されていた内容をより活かすことが出来るのではと感じました。

また、コロナ禍で感じたことですが、ケーブルテレビの加入率を上げていただければ、授業の番組も流せるのではないかと思います。

(会長)

ありがとうございます。大変貴重な意見が多く出ました。意見の全てを吸収することは難しいと思いますが、これらを参考にして、よりよい番組の制作に努力していただきたいと思います。

全体を通して、他に何か意見はありますか。

(委員)

ほっぴーさんカードの仕組みを知らない町民も多くいると感じます。このコロナ禍で苦勞している町内のお店の為にも町全体が協力し、ほっぴーさんカードについてもっとPRするべきだと思います。

(委員)

広報だけでは読まない人もいるので分からないですね。映像で実演するなどして、分かりやすく出来ると良いと思います。

(委員)

せっかくいいテレビがあるのだから、ほっぴーさんカードを紹介するなど、町が潤うようなことを考えていくのがよいのではないですか。

(会長)

ほっぴーさんカードは、実例を紹介しながらPRすることは可能ですか。

(事務局)

そうですね。ハウトゥーの様な形で放送することは可能です。

(委員)

加盟店の方達にも協力してもらい、出演していただくといいですね。

(委員)

ほっぴーさんが町内の各店を実際に訪問し、買い物していくというストーリーに、ポイントの仕組みを交えながら作成すると面白みがあっという間にもいいかもしれませんね。

(委員)

今回のDVDは内容が盛りだくさんで良かったと思います。特にデマンドタクシーの利用案内に関しては、高齢者向けに作成されたものかもしれませんが私達が見ていてもわかりやすいものでした。

(会長)

たくさんの意見ありがとうございました。事務局から何かありますか。

(事務局)

今回、皆さまからいただいた意見を課内で検討して、対応出来るものから速やかに対応させていただきたいと思います。

この審議会は年に1回開催しています。来年度も11月下旬から12月下旬を目途に開催したいと思っています。委員の皆さまの任期は2年となっておりますので宜しくお願い致します。

(会長)

ほかに意見はありませんか、ないようでしたらこれで終わりたいと思います。

以上をもちまして宝達志水町ケーブルテレビ放送番組審議会を閉会いたします。

11時 終了